

# ガバナーメッセージ 地域社会の経済発展

2023-24年度  
国際ロータリー第2660地区 ガバナー  
**延原 健二**(大阪大淀RC)

貧困には、絶対的貧困と相対的貧困があります。絶対的貧困とは、人間として最低限の生活をするのが困難な状態を指し、一方、相対的貧困とは、その国の年間所得の中間値の50%に満たない状態を指します。

絶対的貧困に関しては、現在、世界中で7億6700万人、つまり10人に1人が極度の貧困状態(一日当たり1.9ドル以下で生活している人)にあり、そのうちの約半数、3億8500万人が子どもです。政治的な要因、紛争による混乱、自然災害、コロナのパンデミックなどが主たる貧困原因と考えられています。

ロータリー財団は、「地域社会の経済発展」の分野での持続可能かつ測定可能な成果をもたらす大規模な国際活動を支援するため、以下のようなプロジェクトに対してグローバル補助金を提供しています。

- ・職業研修
- ・社会的企業またはスタートアップ
- ・小口融資(マイクロクレジット)
- ・農業
- ・経済成長のための再生可能エネルギー
- ・緊急時の備え
- ・Adopt-a-village(農村自立支援)

一方、わが国で問題となっているのが相対的貧困です。相対的貧困は外部から見えずらく、必要な支援を受けにくいという側面があります。日本の場合、年収が約127万円以下の世帯を指し、驚くことに6.5人に1人が相対的貧困状態にあります。今やアメリカや韓国をも上回り主要先進国の中でも最悪となっています。日本の相対的貧困が増えているのは、高齢者世帯やひとり親世帯の増加にも関係しています。特に、母子家庭では、母親が十分な収入を得られないことが多く、相対的貧困に陥る割合が高くなっています。貧困によって、子どもは、「なぜ僕だけ」「どうせ僕なんて」などと思い続け、諦めの感情を持ち、自己肯定感が得られません。また、教育格差により、学力・学歴は低下し、成長しても不安定な職業にしか就けず貧困のスパイラルから抜け出すことが困難となります。貧困が固定化されると、医療、教育における公平さは失われ、持てる者と持たざる者の二極化が生じ、社会が分断されていきます。

まず、貧困問題への理解を深めることが必要です。そして、問題解決に向けた取り組みをしている支援団体などと連携を図ることが出来ます。子ども食堂、ホームレス・野宿の人々への支援活動、子どもの学習・生活支援、ヤングケアラー支援、女性支援(DV、ハラスメントなど)、障害のある人の支援など関係する多様な活動が各地で展開されています。

私たちは、世界を変える行動人です。貧困問題を真剣に考え、出来ることから取り組みましょう。

(2023-24年度 RI2660地区 ガバナー月信10月号より)

## 赤い羽根共同募金

10月19日例会場にて赤い羽根共同募金活動をさせて頂き会員各位より25,000円をご寄付頂きました。ご協力に心より感謝申し上げます。  
社会奉仕委員会

## ☆☆ 本日のランチメニュー ☆☆

牛蒡のカプチーノ仕立てスープ  
ほろほろ鶏のフリカッセ  
イチジクとアーモンドのバイクドケーキ  
バゲット、胡桃入りソフトロール  
コーヒー又は、紅茶

# OSAKA-TEMMABASHI ROTARY Club Weekly Bulletin



世界に希望を生み出そう

第2660地区 大阪天満橋ロータリークラブ 創立 昭和42年(1967)11月4日

事務局 〒530-0001 大阪市北区梅田1丁目3番1-1100号 大阪駅前第1ビル11階  
例会 毎週木曜日 12時30分 ヒルトン大阪  
会長 箕村 保 幹事 御木 威 ヲグ・アヅハ・広報委員長 高松 貞彦  
事務局電話(06)6344-0120 FAX(06)6344-0126 ホテル電話(06)6347-7111  
E-mail:temma-rc@temmabashi-rc.com http://temmabashi-rc.com

2023-2024年度RIテーマ

<四つのテスト> 1. 真実かどうか 2. みんなに公平か 3. 好意と友情を深めるか 4. みんなのためになるかどうか

OCTOBER 26 2023 NO. 2638

地域社会の経済発展月間・米山月間

## ☆☆ 今日のプログラム ☆☆

- 1) 例会 (2638回)
- 2) ソング バラが咲いた
- 3) 卓話 「何でこうなっちゃうの、西成続編！」  
高橋 俊起会員
- 4) 次年度理事・役員指名委員会
- 5) 11月度定例理事会

## 次週(11月2日)のお知らせ

- 1) 例会 (2639回)
- 2) 国旗およびロータリー旗に礼
- 3) ソング 君が代・奉仕の理想
- 4) 卓話 「“水素H2”って？」  
石田 道夫会員

## \*\* 先週の例会報告 \*\*

### ☆☆ 会長報告 ☆☆

皆様こんにちは

本日は、地区ロータリー財団委員会のポリオ・プラス小委員会の川上克己委員長様に「ロータリーとポリオ」と題して卓話をしていただきました。川上様よりよろしくお願い致します。

本日11時30分より新入会員インフォメーションが行われ黒田淳子様にご入会いただきました。皆様よりよろしくお願い致します。

10月14日土曜日に秋の家族会が行われました。近江八幡の水郷めぐりなど満喫し、都会を離れ家族で1日のどかな時間を過ごすことができました。まだまだすばらしい所があることを知りました。色々な準備をしていただきました寺杣委員長、親睦活動委員会の皆様、仲西会員ありがとうございました。

10月18日水曜日に大輪ゴルフ会が宝塚ゴルフ倶楽部にて開催され、郡会員、中島会員、平尾会員と参加して参りました。スコアはともかく他のロータリアンと親睦を深める良い機会となりました。

10月22日はRAC主催によるポリオイベント「END POLIO NOWチャリティーハロウィンパーティー」がYOLOBASEにて開催されます。皆様ご出席よろし

くお願い致します。

最後に、公益財団法人 ロータリー日本財団より、望田 謙三会員にポール・ハリス・フェロー・ピンと認証状が荒木 幾夫会員・橋本 守之会員・川原 和彦会員・森本 成俊会員・西井 幾雄会員・末澤 正大会員・高橋 俊起会員・高松 貞彦・高田 肇会員・梅本 知秀会員にマルチプル・ポール・ハリス・フェロー・ピンが、届いておりますので後程お渡し致します。

公益財団法人 ロータリー米山記念奨学会より西田 勤会員・坂口 雅俊会員に第1回米山功労者の感謝状、石田 道夫会員・中村 修会員・高松 貞彦会員に米山功労者マルチプルの感謝状が届いておりますので後程お渡し致します。

会長挨拶は以上です。ありがとうございました。

## ☆☆ 幹事報告 ☆☆

- ①「三世代クラブ合同社会奉仕事業」の出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ②地区大会出欠のご返事を事務局までお願いいたします。
- ③END POLIO NOW チャリティーグッズが届いております。お申し込みされた方に本日お渡ししております。

☆☆出席報告☆☆（）内は会員総数を基準とした値

国内ビジター	0名	会員総数	43名	10月19日の出席率	75.68%
国内ゲスト	1名	会員出席	28名(37名)	4週間前(9月28日)の	
外国ビジター	0名	出席規定適用免除	17名	メイクアップを含む出席率	77.50%
外国ゲスト	0名	会員欠席	9名	メイクアップ実施会員	1名(欠席者10名)

④次週例会前 第8回中長期会員拡充戦略委員会会議が開催されます。本日ご案内をお配りしていますので関係各位よりお願いいたします。

⑤次週例会終了後「11月度定例理事会」を開催いたします。本日ご案内させていただきますので関係各位宜しくお願いたします。

☆☆にこにこ箱☆☆ 敬称を略す

川上委員長様本日卓話宜しくお願申し上げます。国際奉仕委員会  
在籍4ヶ年自祝 望田 謙三  
結婚記念日自祝 高田 肇  
・誕生日自祝(遅れての)・連続欠席のお詫び 福原 哲晃

秋の家族会、ご家族の皆様と楽しい時間有難うございました。クリスマス会も宜しくお願いたします 親睦活動委員会  
黒田さん、ご入会ありがとうございます

箕村 保  
黒田さんをよろしくお願いたします 中島 清治  
黒田淳子さん御入会おめでとう御座居ます 高橋 俊起  
黒田さんご入会おめでとうございます

仲西 良浩  
黒田さん入会おめでとうございます 望田 謙三  
欠席おわびします 川原 和彦  
令和5年10月19日 合計金 54,000円  
累計金 798,000円

☆☆先週(10月19日)の卓話☆☆

「ロータリーとポリオ」

地区ロータリー財団委員会  
ポリオ・プラス小委員会  
委員長 川上 克己 様  
国際奉仕委員会

ロータリーは1979年に初めてポリオのプロジェクトに携わりました。フィリピンの600万の児童にポリオの予防接種をするという5カ年の誓約でした。これが、保健、飢餓追放および人間性尊重(3-H)プログラムの最初のプロジェクトで、国際ロータリーの75周年基金から補助金が授与されました。

1980年代初めに、ロータリーは史上最も意欲的なプログラムを計画しました。それは、世界中の

児童にポリオの予防接種をしようというプログラムです。ロータリーは、故アルバートセービン博士の助言と支援を得て、1985年にポリオプラスプログラムを設けました。ポリオとともに、はしか、ジフテリア、結核、百日咳、破傷風の5つをプラスして、同時追放を目的としてポリオプラスと呼んでいましたが、ポリオプラスの「プラス」は最初の頃と意味が変わって、現在は、世界的なポリオ根絶活動がもたらした遺産のことを指しています。

1985年にポリオプラスプログラムを開始して以来、ロータリーはポリオ根絶を組織の最優先項目としてきました。世界ポリオ根絶推進活動(GPEI)のパートナー団体とともにロータリーが活動を開始した1988年には、125か国で35万件以上の発症が確認されていましたが、以来、25億人以上の子どもにポリオの予防接種を行い、発症数は99.9%減少しています。

ロータリーは1985年以来、ポリオ根絶活動に20億ドル以上の資金(ビルゲイツ財団の上乗せを含む)を投入しています。

また、アドボカシー(政府への働きかけ)を通じて、援助国、民間団体、多角的センター、および非援助国からGPEIへの寄付額は150億ドル以上にもなっています。

野生株ポリオが残る国(常在国)は今やパキスタンとアフガニスタンの2ヶ国だけなのに、どうしてそんなに資金が必要なのですか、という疑問もあろうかと思ひます。ポリオを根絶するには、野生株ポリオウィルスによる発症が起きているこの2ヶ国でのウィルスの感染を断ち切らなければなりません。さらに、既にポリオフリーとなった国にウィルスが流入しないようにする必要があります。ウィルス流入のリスクが高い国々(約60ヶ国)では、現在も子どもへの大規模な一斉予防接種キャンペーンが行われています。すべての子どもがポリオにおびえずに暮らせる日が来るまで、私たちは活動をやめるわけにはいきません。

ポリオ根絶のためには、まだまだ多くの資金が必要となってまいります。「あと少し」まで来ています。この偉大な事業に私たちロータリーが、中心となり、携わったという誇りと喜びのためにも、多くの応援と寄付を心よりお願申し上げます。ありがとうございます。

--- 秋の家族会 ---



10月14日土曜日 秋の家族会は、「近江八幡市」への日帰り旅行へ。箕村会長のお子さんを含め、会員ご家族、事務局員の皆様と総勢26名での家族旅行です。先日までのあれほどの残暑がこの数日のうちに程良い気候となり、当日は天候にも恵まれました。大阪ヒルトンより観光バスで近江八幡市に向かい、屋形船でヨシ原一面に広がる水郷めぐり、昼食は近江牛肉屋直営のレストランでステーキコースを楽しみました。夕刻までガイドにより八幡山のロープウェイで琵琶湖や水郷地帯を眼下に城址を巡るコースと近江商人の町並み、ヴォーリス建築群や八幡堀の散策コースに分かれ近隣を散策しました。不馴れにより多々行き届かないことあったかと思いますが、会員の皆様のご協力によりご家族を交え一日懇親を深める楽しい時間となりました。ご協賛、差し入れなどを頂きました会員の皆様には改めてお礼を申し上げます。

